

学校経営の基盤

- 公教育の立場を踏まえて
日本国憲法・教育基本法・学校教育法等諸法令
全体の奉仕者としての自覚と責任感、使命感を持つ。
- 時代の要請に応える、新しい学校教育の創造を
時代を見極め、新しい要請に応える教育を行う。
チーム木屋瀬⇒全教職員が子供のため結束・協力する。
教育課題への対応⇒第2期アクションプランで学力・体力向上
働き方改革⇒思い切った業務改善の実施、残業時間減の工夫
教科担任制の導入⇒皆で育てる学級
- 新学習指導要領への対応
新学習指導要領の移行内容を落とさず習得させる。
外国語教育・特別な教科道徳・への対応
プログラミング教育・防災教育への対応

学校教育目標

自ら考え 心豊かで たくましい子供の育成

令和2年度学校目標 << ホンモノを目指さないか? >>

ホンモノとはなにか?

あなたはホンモノか?

木屋瀬小はホンモノか?

逃げずに向かい合う
苦難が人を育てる

一人でもやり抜く
いつでも、どこでも

木屋瀬プライド自覚
だれもが正義を貫く

子供・保護者・地域・教師の願い

- (保) 毎日学校に喜んで行ってほしい。
- (保) 友だちと仲良く、元気に明るく過ごしてほしい。
- (子) 分かりたい・できるようになりたい。
- (子) 褒められたい、認めてもらいたい。
- (地) 挨拶ができ一生懸命働く子になってほしい。
- (地) 地域を愛し、地域を大切に育てる子供に育ててほしい。
- (教) 自分の良さを知り、自信をもって未来を歩んでほしい
- (教) 学ぶ楽しさや働く喜びを知り自己研鑽に励んでほしい。

校区の特性

- 古くより長崎街道の追分宿場町として栄えた文化がある。
- 産炭地として栄え、近代社会を支えた。
- 住宅地でありながらも、豊かな自然に囲まれている。そばに遠賀川、笹尾川、黒川が流れ、校内に昆虫や野鳥が姿を見せる。

「ホンモノの学び」

「ホンモノの思いやり」

「ホンモノの行動」

逃げずに向かい合う 【楽しく乗り越えるのも力】

- 子供主体の楽しい授業（3S；sharp・simple・short）
 - 子供自ら調べたい問題設定 with 見通し【10分で子供任せに】
 - ★何が分からない？★何ををはっきりさせる？★何を言えばはっきりする？
 - 2点比較追究法（15分；10分で追究、5分で整理）
 - ★過去と現在、共通点と相違点、分かった分からない、主従、要不要、変化するものさせるもの、上下、左右、前後、○×、紅白等、3点比較あり
 - 子供の結果も比較でまとめる（5分 分けて書いておくのが大切）
 - ★個人の予想・結果を黒板表明（名札貼、シール、○×）
 - ★共通点（きまり）と相違点（新問題）で整理
 - ★目当ての言葉を半分使って子供自らまとめる
 - 使う（10分）
 - ★使えてナンボ！★繰り返して覚える
 - 試す（5分）
 - ★チェックテスト、振り返り（価値づけ）
- 子供主体の授業①の先生の行動は？
 - 見せる「違いは？」⇒問う「何でこうなるの？」⇒突く「何がはっきりすれば分かる？」⇒詰める「何を使う？」⇒指示「調べ方・示し方・安全」
 - 黒板に子供が結果を書けるように表を2点に分けて書く（名前カード）
 - ★班を回り良い班の活動を大きな声で紹介しながら歩く⇒書ける
 - 「共通点は？」⇒まとめ 「相違点は？」⇒新事実
 - 「何したい？」⇒選択、練習問題、子供相互でクイズ、発展学習 etc
 - ミニテスト習慣化（ミニテスト用紙常駐）、45分成長の実感
- 活動するから学びが楽しくなる
 - ★書く、伝える、教える、見る、立つ、歌う、笑う、考える、感じる、匂う
- 楽しいを重ねる
 - ・ できる楽しさ（分かる▲できる○もっと知りたい◎）
 - ・ 学級の雰囲気（誰でも、いつでも入れる）、笑顔、元気、徹底

一人でもやり抜く 【誰かのために役立つ自分】

- 上級生が作る学校
 - ・ 先輩から何を学ぶのか、後輩に何を学ばせるのか
 - ・ あいさつ、掃除、そろえる（靴・傘・雑巾・道具・ルール）
 - ・ 人のために役立つ自分を誇りに
- 笑顔のあいさつ（木屋瀬中学校区の目標～あいさつ日本一）
 - ・ 「おかめ」のあいさつ（大きな声で、体を起こして、目を見て）
 - ・ いつ・どこで・どのように（いつでも・廊下や外で・立ち止まって）
 - ・ 教師も保護者やお世話になった方に（送るとき・玄関で・出るまで）
 - ・ 教師や上級生が手本を示す。すべての子供に回答する
- そうじ・そろえる
 - ・ 掃除の意味と仕方を教える。（掃き方・拭き方・順序・割当て方）
 - ・ 奉仕に対して、認められる場、感謝される場を設けたい
- 対人スキルアップ（仲間を育てる言葉の力）コグトレ
 - ：どうぞ、ありがとう、すごい、やるね、助かる、大丈夫？
 - ×：うざい、きもい、むかつく、死ぬ、チビ、ばか、デブ
 - ・ 月に1回のプログラムや朝や帰りの会、主題研究などの中で取り組む
- 木屋瀬中学校区授業5則
 - チャイムで始め、チャイムで終わる
 - 礼に始まり礼に終わる（先言後礼）
 - 自分で行う準備と片付け
 - 机をそろえ、姿勢を正しくする
 - 相手を見て最後まで話を聞く
- 木屋瀬小学校みんなのルールの徹底
 - ・ 4月全て子供といっしょに木屋瀬ルールを確認する
 - ・ ポイントを決めて徹底する⇒名札、帰宅時間、持ち物等（褒めて育てる）

木屋瀬プライド 【仲間がいるからできる⇒つながる】

- 子供と
 - ・ 背景を理解して、共感的な指導に努める
 - ・ どの子にも平等、公平な指導「ならぬことは、ならぬ」毅然とする
 - ・ 事実確認を確実にすること、休み時間や放課後の活用（授業時間の確保）
 - ・ 体罰・暴言の禁止⇒懲戒の理解
- 保護者と
 - ・ 月1回の「生活がんばりカード」で生活改善と保護者との連携
 - ・ 褒める連絡に努め、家庭状況も理解して話をする
 - ・ 怪我、持物紛失は当日の事実掌握・連絡
- 地域と
 - ・ ボランティア（パトロール隊）と子供をつなぐ
 - ・ ふるさととつながる⇒木屋瀬宿場町の歴史と伝統文化の継承
 - ・ 科学フェスティバル at 木屋瀬宿
- 管理職、教職員と
 - ・ 報告、連絡、相談の徹底（知らないことには対応できない）
 - ・ 綱紀粛正；交通事故、飲酒運転、公金取扱、情報管理、セハラ・パワハラ
 - ・ トラブル発生⇒正確な事実確認・管理職連絡・チームで対応
- 学校外と
 - ・ 電話、外来者対応⇒明るく元気に（電話対応18時まで）
 - ・ 校内で知らない人を見かけたら必ずあいさつをして情報を得る
- 保・幼、中と
 - ・ 木屋瀬中学校区保幼小中一環連携教育の推進
 - ・ 人権教育の推進（南同連で一体となって）
- 各種サークル、市教委、文科省等と
 - ・ よい授業や第2期アクションプラン、新しい施策等を積極的に取り入れる

健康・安全教育の充実

- ・ コロナウイルス対応、NO！3密、検温・健康観察重視
- ・ 8：35までに健康観察、8：40までに居所把握。
- ・ 怪我は原因究明し、保護者へ当日必ず連絡する。（連絡帳は×）
- ・ 怪我の病院行、病気の帰宅は管理職に必ず相談を。
- ・ 不登校対応；本人の気持ちに寄り添う
- ・ 安全管理（月一回）、防災訓練（学期一回）

教師の働き方改革

- ・ 持合い授業の導入⇒学級を超えての指導が当たり前
- ・ 学校行事の見直し；コロナウイルス対応行事削減、授業
- ・ 勤務時間入力確実に、土・日は報告
- ・ 学年定時退校日、主任が帰る努力を
- ・ 会議削減、伝達は短く、白板に書く、意見は短く
- ・ 空いた時間で教材研究、研究会やサークルへの参加

食育の推進

- ・ 食後の歯磨き、手洗い習慣化、もう一口運動のススメ
- ・ 給食時間（12：20～13：05）13：20までに終わる
- ・ アレルギー誤食防2重、3重のチェック
- ・ アレルギー対応おかわり禁止、食中毒、異物混入の防止（引率）
- ・ 調理や火気を使うときには管理職へ事前連絡